

2017年1月12日
東日本旅客鉄道株式会社
八王子支社

囲いわなによる二ホンジカ等の試行捕獲の開始について

近年、八王子支社でも列車と動物との衝突事故がたびたび発生しています。中でも、二ホンジカとの衝突事故が目立っており、二ホンジカの線路内への侵入を防ぐためのフェンスの設置や、忌避効果があるとされている薬剤散布等の衝突事故低減対策の取り組みを進めています。

この度、2014年の法改正に伴い新設された制度を活用し、新たな衝突事故低減対策の取り組みとして、囲いわなを線路近くに設置し、線路に近寄る二ホンジカの試行捕獲を開始しました。

なお、本取り組みはJR東日本で初めての取り組みになります。

1 囲いわな設置箇所

山梨県甲州市 ※中央線 当社用地内

2 試行期間

2016年12月29日(木)～2017年9月30日(土)

3 その他

イノシシによる被害も見受けられることから、イノシシも対象に含めます。

【参考】これまでの衝突事故対策の取り組み

- ・侵入防止フェンス 衝突頻度が高い区間を中心に、総延長約9kmを整備済み。
- ・忌避剤 ライオンの尿由来の薬剤を、踏切等のフェンスが整備できない箇所を中心に散布。